



浅口市立鴨方西小学校

かもにしNOW

(文責 校長：三浦 嘉子)

R5. 9. 26



お彼岸を過ぎ、少し秋を感じられるようになりました。9月26日号では、1年生の親子給食の様子、6年生の修学旅行の様子をご紹介します。

【親子給食・1年生(9月21日)】

9月21日は、親子給食の日でした。保護者の方に給食を試食頂き、給食そのものや子どもたちが食べている様子、給食センターの取組をご理解頂くこと、また、給食へのご意見を伺ってメニュー改善の参考にさせて頂くことを目的として実施しました。この日のメニューは、「秋のお彼岸献立(さんまのかば焼き、かしわ汁、おはぎ、他)」でした。保護者の方々には、別室で配膳をお手伝い頂き、いざ、1年生教室へ。親子で向かい合って給食を頂きました。

子どもたちからは、「お母さんがおいしそうな顔をしていてよかった」や「2人で食べて笑顔になってよかった」という感想があがりました。保護者の方からは、「子どもが苦手なものも頑張って食べている姿が見られて嬉しかったです。給食センターの様子も教えて頂き給食への理解が深まりました。」や、「20年ぶりの給食はとても懐かしく、とても美味しかったです。栄養バランスもきちんと考えられていて、子どもと一緒に食べる機会を作って頂けて、給食について子どもと話すきっかけになりました。」と嬉しい感想を頂きました。



【修学旅行・6年生(9月21日～22日)】

6年生は、9月21日～22日の間、修学旅行に行ってきました。担任の指導により、前日早めに休んだ子どもたちの顔は、朝から生き生き。新幹線で京都駅へ向かいました。京都駅到着後、6班に分かれてタクシー研修が始まりました。



【新幹線：お菓子は岡山-新神戸まで我慢】

【タクシー研修：出会った外国人に物怖じせず。】

現6年生は、4年生・5年生の間、コロナ禍の中で学校生活を送ってきたため、宿泊研修は、この修学旅行が初体験です。宿泊先の宇多野ユースホテルに到着し、期待が高まります。皆で夕食を食べ、皆で入浴するのも初めて。特に皆での入浴は嬉し恥ずかしの体験です。

また、今回の旅行のめあての一つ、「計画的にお金を使おう」に従って、空き時間に修学旅行1日目の小遣い帳を整理する子どもたち。レシートをもらい忘れたり、計算を間違ったりで、残金が合いません。どうする、6年生！



【夕食：すき焼きで大盛り上がり】



【皆でお風呂に入るのは嬉し恥ずかし】



【小遣い帳を整理する子どもたち】

2日目は、バスで奈良に移動し、東大寺を見学しました。



修学旅行中、お世話になったホテルの方やタクシーの運転手さんに感謝の気持ちを伝えたり、旅先で出会った海外の方や他の修学旅行生に挨拶をしたり、神社仏閣の説明をしてくださるガイドさんの話をよく聞き、歴史を楽しんだり、しっかりと修学旅行のめあてに取り組んでいる姿が見えました。

この旅行を通じて、6年生の中には、益々、クラス全員で一致団結する気持ちや思いやりの心が育ちました。宿泊先でベッドのシーツを片付ける際、手伝い合ったり、昼食のレストランで食べ終わったお皿をグループ毎に重ねて、お店の方の後片付けが少しでも楽になるように気配りしたり、ウォークラリー中は、友達の体調を気遣ったり、随所に優しい心遣いが見えました。また、一つ成長して、鴨方西小学校のリーダーとして学校を牽引してくれるものと思います。

保護者の皆様、朝の鴨方駅までのお見送り、帰りの学校までのお迎え、お世話をおかけしました。有り難うございました。